

# 新型コロナの感染再拡大で、先行きの不透明感が強まる欧州景気

## ポイント① 欧州で新型コロナの感染再拡大

足元、欧州では新型コロナウイルスの感染が再拡大しています。深刻な感染状況は、WHO（世界保健機関）が23日に発表した「欧州で2022年春までに、新型コロナで新たに70万人が死亡する恐れがある」との声明が物語っており、特に感染が拡大しているオーストリアでは、22日より全土でロックダウン（都市封鎖）が再開されました。またオランダでは、政府の追加的な行動制限措置に反対する市民が暴徒化する事態が相次ぎ、今後の景況感を占う上でも、各国政府には感染抑制と経済活動の両立に向けた政権運営が求められています。

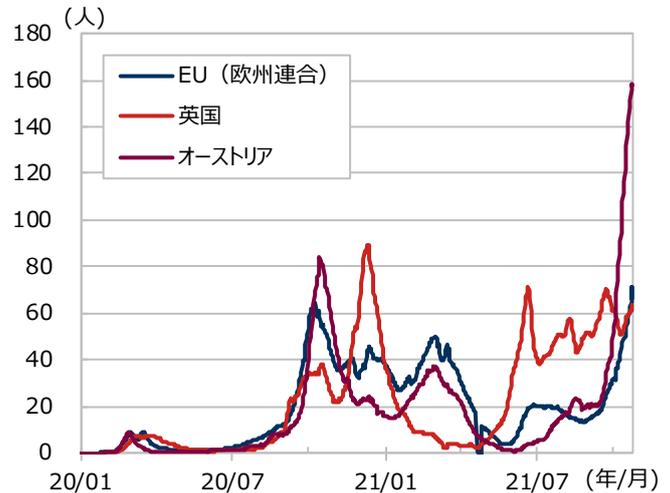
## ポイント② 欧州PMI、4カ月ぶりの改善

感染拡大渦中の23日に発表された、11月のユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）は55.8ポイントと、市場予想に反し、前月比で1.6ポイントの改善をみせました。中でもサービス業のPMIが前月比で2.0ポイントの改善となり、各国の行動制限や入国時の隔離要件の緩和が、同指数の上昇をけん引した模様です。しかし、直近の新型コロナ感染動向を踏まえると、好調なサービス業の雲行きには陰りが見られ、消費が活発化するクリスマスを前に、欧州では景気先行きの不透明感が強まっています。

## ポイント③ 英PMI減速も、12月に利上げか

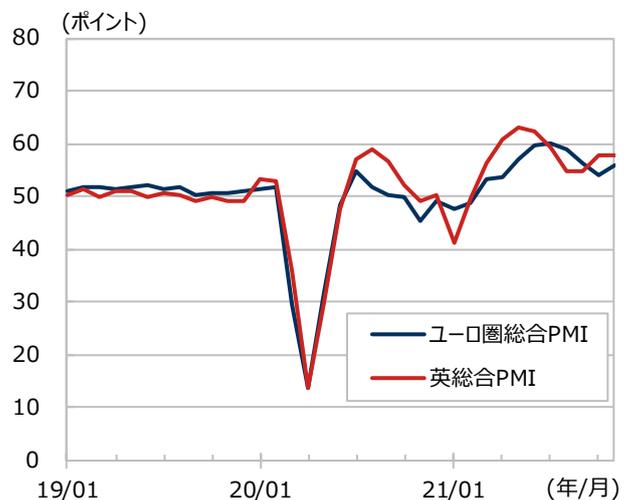
同日発表された、11月の英総合PMIは57.7ポイントと、前月比で0.1ポイントの下落となりました。とはいえ、依然として高いPMIの水準を維持していること、ジョンソン首相が新型コロナによる規制強化の必要性を否定していることなどを鑑みると、来月の金融政策の発表で、英中銀が物価上昇を理由に利上げに踏み切る可能性も高く、注意が必要です。

欧州の新型コロナウイルス感染状況  
(10万人あたり、7日間移動平均)



期間：2020年1月31日～2021年11月23日、日次  
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ユーロ圏、英国の総合PMIの推移



期間：2019年1月～2021年11月、月次  
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

**重要  
イベント**

- 11月29日 ユーロ圏消費者信頼感指数 (11月)
- 12月16日 ユーロ圏、英国金融政策発表

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。